

麗澤大学外国語学部・観光ホスピタリティ論受講生

感想文

M.N.さん

今回の金城さんの特別講義はとても興味深く、新しい視点で沖縄を捉えるきっかけになりました。その新しいきっかけとは、今回メインでお話してくださった、“サンゴに優しい日焼け止め”と“MANATII”におけるクリーンアップ活動についてです。

今まで、内地で生まれ育ち沖縄といえば、きれいな海が当たり前だと考えていました。実際に沖縄の海を見ても「綺麗だな」という想いがあり、サンゴ礁が人のせいで死んでいっていることはあまり知りませんでした。講義の冒頭では、サンゴ礁の防波堤機能を人工リーフに置き換えた時に800億の価値があると知り、価値の大きさをより明確に実感し、驚きました。また、サンゴ礁に守られている当事者が、サンゴ礁を守らないでどうするのだと、いう一種の怒りも湧きました。

私が石垣島に行った際にサンゴを守る環境保護活動の商品としてよく目にしていたものは“35コーヒー”でした。しかし、残念ながら“サンゴに優しい日焼け止め”を見かけた記憶はありませんでした。石垣では入念な紫外線対策をしていたし、サンゴに有害な物質がはいっている日焼け止めを使いシュノーケリングをしてしまったので、今回の話を聞いて次回からは絶対に“サンゴに”優しい日焼け止め“を使おうと決めました。また、“35コーヒー”と同じくらい、どこに行っても目にするような商品になってほしいと思いました。

MANATIIの活動にも、興味を持ちました。正直、沖縄まで行ってゴミ拾いをしたいと思う観光客は少ないと思い地域の方向けの話であると思いました。しかし、地域をつなぐ暖かい活動であると知り、沖縄の方と新しい人との繋がりができるチャンスであると考えましたし、千葉で活動が始まるのであれば、参加したいと考えています。

H.Nさん

金城さんの、周りを巻き込むような行動力が素晴らしいと感じた。私が普通の日焼け止めが、サンゴへの悪影響に繋がっている知った、らおそらく日焼け止めの成分がサンゴに影響のないものを選んで使っただけだと思う。しかし、金城さんは自分が日焼け止めを作るという自分だけの中で終わる取り組みではないというのが素晴らしかった。同様に、ゴミ拾も自分がして終わりではなく、プロジェクトとして立ち上げてみんながゴミ拾いができるような環境を作るというのも周りを巻き込む行動であるといえて、非常に素晴らしいと感じられる。

環境とホスピタリティが表裏一体であるということを今回の講演で気付いた。ホスピタリティとは、お客様が満足するサービスを提供するというのが一般的な認識である。その中には、環境に配慮したサービスもあれば、お客様第一で何も環境に配慮できてないサービスもあると思う。お客様が、どのようなサービスを好むかも満足するかも接客する側は分からない。しかし、大変だけれども接客する側は環境に配慮していかなくてはならない時代になってきている。誰かがその流れに屈しないことが重要であるといえる。お客様に合わせてサービスをするというよりも、自分たちが環境に優しいサービスを提供し続けるということが重要である。そうすることで、そういういったサービスを好むお客様がやってくるのだといえるし、お客様も企業も自然とそういった考えに変化していくのだと気付いた。

N.Yさん

本日はありがとうございました。

初めて知ることが多くあり、とても興味深い内容でした。

今回の講演を聞くことがなかったら、そもそも日焼け止めとサンゴが関係していることを知らずに生きていくことになったと思います。また、ゴミ拾いに関しても、ゴミを拾うことが重要なのは分かっている、処理するのに困るからいいや、と一歩踏み出すことを躊躇していたはず。自分の価値観を改め直す良いきっかけになりました。

サンゴがたくさん死んでしまっているという話はよく聞いても、サンゴが死んでいくこと自体に自分は関係がないと思っていました。しかし、魚のシェルターの役割が無くなり魚の値段が高くなったりなどと自分に遠からず関係あることを知りました。

また、サンゴは植物だと思っていたので、中に植物がいる動物という面白い生き物であることを知り、自分でもサンゴの生態について調べてみようと思いがわきました。

そして皮肉だと感じたのが、金城さんも仰っていたように、真っ白な死んだサンゴでも綺麗で映えてしまうことです。最初の死んだサンゴと生きているサンゴの写真が左右で比べられているスライドを見て、正直、白いサンゴの方が綺麗だなと感じてしまいました。私以外にも、死んでいても綺麗と感じる人は多くいると思うため、火事に比べてネガティブな印象が強く残らず、話題にならないことに納得しました。こんなに綺麗だけど実は死んでいるということを逆手に取って、問題提起をすることが必要なのかなと感じました。

そして、ゴミ拾いを呼びかける割には、手軽にゴミ拾いをするには出来ない環境ということをもたまに感じていて、道端に落ちているゴミを拾いたくても処理の仕方がわからず、拾うことをやめてしまうことが今まで多々ありました。そもそもゴミを捨てないことが1番の解決策ではあるものの、躊躇せずに捨てる人がいるのが現状です。もし、千葉にMANATIIが来たり、自分が沖縄に行ったら500円払って活動に参加したいと思います！

K.Kさん

お話を聞いて、自分にも一歩踏み出すきっかけを与えて頂けたと強く感じました。年中、日焼け止めを使っていますが、これまで一度も「サンゴに優しい日焼け止め」を聞いたこともなかったので、情報の回り方にはやはり偏りがあり、適切に必要な人に届ける難しさも同時に感じました。営業時に、観光関係の店舗が一切取り合ってくれなかったというお話にもあったように、世の中が動き出すのは流行や認知があつてのもので、誰も知らないものをはじめから投入しようと良心から行ってくれる企業はそう多くないという現実を見ることもできました。だからこそ、一般市民の少しの興味関心から広まっていく情報が重要になってくるというお話にも理解が出来ました。

今後、国内外問わず、海に行くときには、サンゴに優しい日焼け止めを購入して家族にも共有したいと思います。SNSでの共有も効果的だと思うので、少して活動の周知に一消費者として参加したいです。

とても印象的だったのが、金城さんがプロジェクトを行うきっかけとしてダイビングの時の言葉を挙げられていましたが、たった一言からここまで実行に移していけるその行動力に驚かされました。関心はあつても、自分が何かしなくちゃ！とまで思えることはなかなかないので、一人の強い思いが、周囲の人や環境を変えることができるという強い応援メッセージだと感じました。これから就活が本格的に始まり、近い将来、社会に出ていくこととなりますが、自分がやりたい！と感じることにはとことん向き合っていこうと思いました。そのようなマインドを意識することで、仕事での活躍ややりがいを見出すきっかけになるかと思えます。

本日は、貴重なお時間をいただいて講演をしていただきありがとうございました。知らなかった世界を今日だけで沢山知ることができました。